

7 旭地域のまちづくり方針

(1) 地域のあらし

位置・面積

- ・旭地域は湘南平の北側に位置し、東の金目川、西の小田原厚木道路に囲まれています。かつては旭村に属し、昭和 29 年 7 月に平塚市に編入されました。
- ・地域の面積は 646.5ha で全市の約 10% を占めます。うち旭北地区は 304.5ha、旭南地区は 342.0ha です。
- ・旭北地区は旭小と松延小学校区、旭南地区は山下小と勝原小学校区が含まれます。

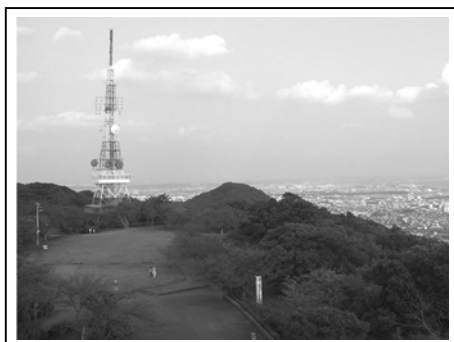


人口・土地の利用

- ・人口は全市の約 18% を占めます。旭北地区は増加、旭南地区は減少傾向にあります。(平成 17 年国勢調査)
- ・市街化区域は、地域の約 64% を占め、住宅団地を中心に成熟した雰囲気のみちとなっています。
- ・東海道新幹線の南側は、湘南平のふもとに住宅地が広がっており、新幹線の北側は、平成 8 年に整備された日向岡の住宅地を中心に、地区計画 などにより良好な住環境が形成されているほか、金目川の水辺から西側に田園が広がっています。

地域の資源

- ・本市と大磯町にまたがり約 141ha の高麗山公園があり、湘南平、子供の森ゾーンなどを開設しています。湘南平からの眺望は、本市をとりまく自然地形や市街地の特徴を一望することができ、昼間だけでなく、夜景も多くの人に楽しまれています。また、桜の名所としても市民に親しまれています。
- ・八幡神社土屋線の商店街を中心に、コンパクトなまちが形成されています。
- ・環境美化の進んだ河内川や纏緑道は、地域住民同士の交流の象徴となっています。
- ・市内においては旭地域が金目川サイクリングコースの起点ともなり、サイクリングを楽しむ人でにぎわいます。金目川サイクリングコースは、日本で初めてのサイクリング用道路として昭和 42 年 10 月 10 日に開通しました。



湘南平



河内川でのアジサイの植樹

(2) 地域の主な課題

道路と交通の課題

- ・平塚駅への交通ネットワークや、地域間をつなぐ交通ネットワークの不足に対応することが課題です。

住まい環境の課題

- ・比較的多く残っている宅地化農地などで、戸建て住宅や中高層マンションの立地が進行しています。既存の良好な居住環境の保全や優良な農地の維持が課題です。

地域の資源をいかすための課題

- ・八幡神社土屋線の沿道を中心に南北に広がる住宅地は、そのコンパクト性をいかしたまちづくりが望まれます。
- ・自転車利用率の高い本市の特性を踏まえ、金目川サイクリングコースをいかしたスポーツ交流が望まれます。
- ・河内川の地域住民による環境美化活動を、沿川でさらに広めていくことが望まれます。



高村団地周辺の街並み



金目川サイクリングコース

(3) 地域のまちづくりの目標と将来像

まちづくりの目標

湘南平の魅力づくりや金目川の活用
市民交流をいかした暮らしに楽しみのあるまちの形成
商店街を中心に歩いて暮らせるまちの形成

将来像

湘南平と金目川の自然につつまれて、
魅力ある商店街と豊かな暮らしのあるまち

湘南平のふもとに広がる旭地区は、桜の金目川や住民の活動が支える纏緑道、あじさいの河内川など市民交流が盛んで、にぎやかな商店街を中心に歩いて暮らせる楽しいまちをめざします。

(4) 地域の分野別の方針

(4) - 1 道路と交通

道路一般

- ・平塚山下線など、未整備となっている都市計画道路の段階的な整備を進めます。
- ・安全で円滑な生活交通確保のため、歩道の設置など効果的な道路整備を進めます。

バス交通

- ・バス交通の円滑な走行や利便性向上のため、バス停の環境整備や道路整備などを進めます。

歩行者空間、自転車利用環境

- ・歩行者や自転車利用者のため、安全に通行できる空間確保や交通安全施設などの環境整備を進めます。
- ・自転車利用環境の向上のため、自転車走行空間の創出や自転車ネットワークの形成に努めます。また、バス停周辺において駐輪場の設置を検討します。

(4) - 2 住まい環境

住宅地

- ・地域全体に大きく広がる住居系市街地では、戸建てを中心とした低層住宅地として、みどり豊かな居住環境を形成します。
- ・既存の共同住宅が立地する山下団地や高村団地は、中高層の住宅地として周辺の住宅地や農地と調和する景観への配慮や緑化を誘導し、良好な居住環境を形成します。
- ・道路などが必要なところは、居住環境や防災性を高めるため、生活道路や下水道施設などの公共施設整備を進めます。

近隣商業地または沿道市街地

- ・八幡神社土屋線沿道の商店街においては、地域生活に密着した店舗や事務所などの立地を誘導します。

農地

- ・農地は、食糧供給や多面的な機能を有するためこれを維持及び保全し、さらに有効利用するため農業振興策を進めると共に、生産基盤の向上に努めます。また、市民との協働による利活用についても検討します。

公共公益施設

- ・山城子どもの家や西図書館、地区公民館などの公共公益施設は、地域の様々な活動を支える拠点として、誰もがつかいやすいように施設の柔軟な運営と管理に努めます。

(4) - 3 景観やみどりと水辺

代表的な景観

- ・高麗山と湘南平は、平塚らしさを特徴づける稜線の姿や、市内を一望できる貴重な眺望地点として維持及び保全します。
- ・湘南平を始めとする高麗山公園は、みどりとふれあいをテーマに、交流やレクリエーションのなかで満喫できる拠点とし、本市全体及び旭地域の象徴となるよう演出に努めます。
- ・金目川などの河川は、地域にふさわしい花々や樹木に彩られた河川景観を形成します。

みどりと水辺空間、ネットワーク

- ・高麗山ふもとの斜面緑地は、貴重なみどりととして保全に努めます。
- ・環境美化の進んだ河内川においては、みどりと水辺のふれあいスポットとして維持します。
- ・金目川の川辺においては親水空間をいかし、みどりと水辺のネットワークづくりに努めます。

公園や広場

- ・身近な公園や広場は、地域ニーズに応じ、また地域住民の参加により、誰もがつかいやすく親しみのある空間づくりを進めます。

(5) 地域の資源をいかした魅力づくりの方針

歩いて暮らせるまちづくり

- ・旭地域の一部で、新幹線と金目川と高麗山などに囲まれた市街地は、八幡神社土屋線沿線の商店街を中心におおむね1 km圏に密度の高い住宅地が形成し、さらに公共公益施設などがまとまっています。このためこのコンパクト性をいかし、少子高齢化社会への移行を踏まえた、歩いて暮らせるまちづくり（地域生活圏の形成）のモデルを検討します。

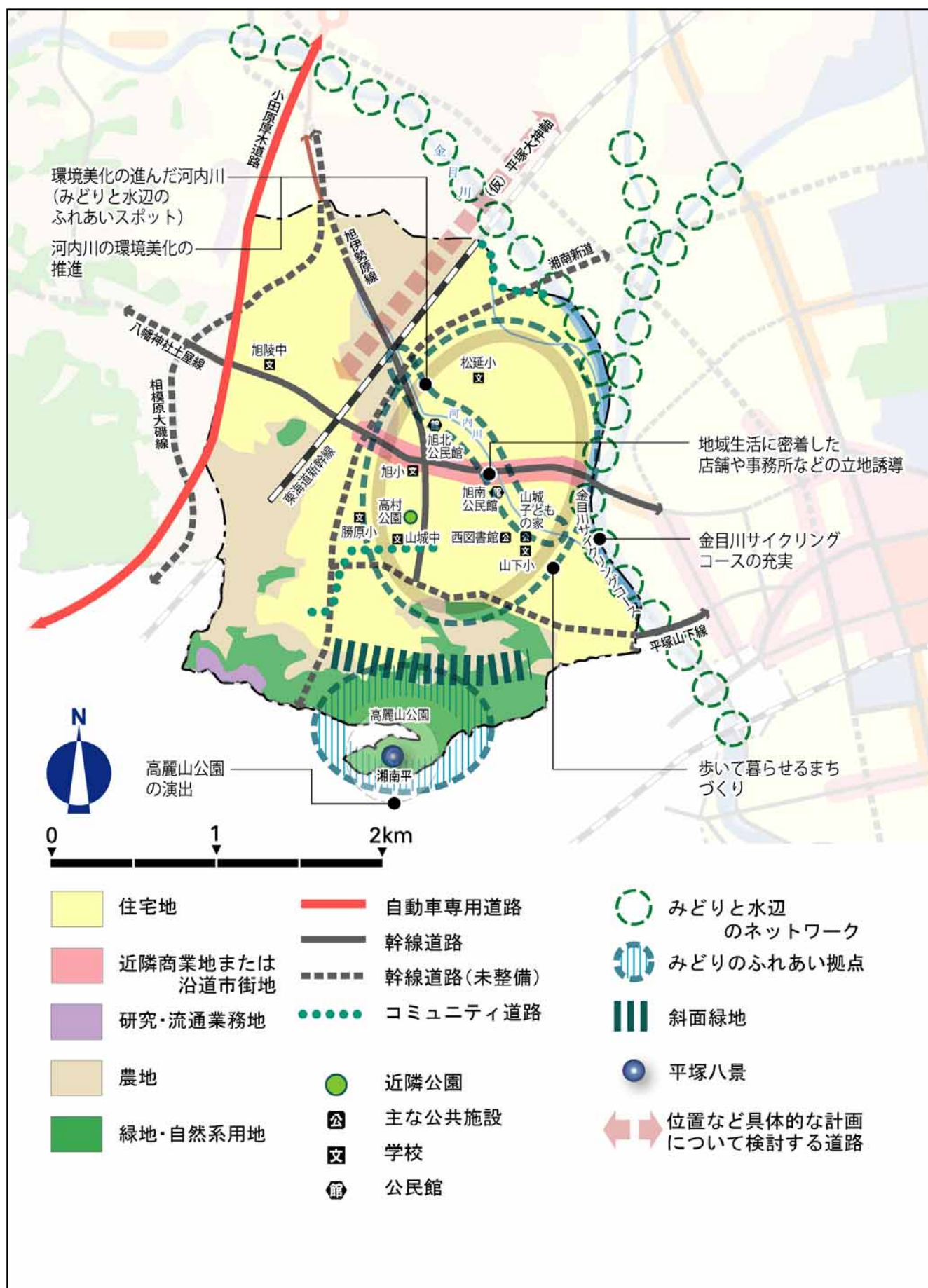
金目川サイクリングコースの充実

- ・金目川サイクリングコースを、スポーツ交流やレクリエーション体験のできるサイクリングコースとして充実し、自転車走行の連続性に配慮した整備を検討します。

河内川的环境美化の推進

- ・河内川では、地域の住民や学校の子供たちの活動によるアジサイの植栽、草刈、清掃作業や環境啓発活動が行われ、環境美化が進みました。親水施設の設置や、アジサイ祭りの開催など地域住民の交流による取組みを支援すると共に、みどりと水辺のふれあいスポットとして維持します。

旭地域のまちづくり方針図



地域の魅力づくりに向けて ～地域主体の取り組みイメージ～

地域のまちづくりの目標と将来像の実現に向けたこれからのまちづくりは、「様々な主体が各々の役割を果たす協働の取り組み」であり「地域自らが行う」ことが重要です。ここでは、地域の資源をいかした取り組みを進めるため、地域主体の取り組みイメージの例を示します。

例1：湘南平ふもとの斜面緑地の保全

旭地域においては、みどりの映える斜面林が湘南平のふもとでまち並みの背景となって連なっています。こうした恵まれた自然資産である斜面緑地を保全することが望まれます。

市では保全樹・保全樹林の指定を進める一方で、地域においては、ボランティア団体や自治会による雑木林の管理や下草刈りなどが考えられます。

このほか、基金の設置やトラスト制度の活用により、広く市民や事業所の協力を得て保全していくことが考えられます。



高麗山と金目川



金目川サイクリングコース

例2：サイクリングによるスポーツ交流

金目川サイクリングコースをいかし、自転車と交流をテーマにした市民活動が望まれます。

旭地域に拠点を立てて、サイクリングコースを介して市内各地域へとサイクリングし、スポーツ交流を進めることが考えられます。拠点においては自転車の貸し出しや安全な走行や交通法規、点検などについての講習会を開催することなどが考えられます。

実現のためには、関係機関や事業所の協力のもとに、運営主体となる組織の設立が望まれます。

例3：みんなが歩ける環境づくり

みんなができるだけ車に依存せず、快適に歩ける環境をつくることが望まれます。

商店街の一角に、井戸端会議ができる場所など人のたまる空間をつくると、そこは多くの人々が交流する場となり、商店街に様々な施設の立地が期待できます。商店街へのアクセス道路を歩行者や自転車利用者のための空間に再編すると、まちを体感できる速度の歩ける環境となり、様々な魅力の発見につながります。



旭地域の中心にある商店街

